

「平成20年1月から平成24年12月までに川崎医科大学附属病院で肺切除術を受けられた患者さんへのお知らせ」

研究課題名：肺切除後遷延性肺癰症例の検討

当教室では、平成20年1月より平成24年12月までに、川崎医科大学附属病院で肺切除術を受けられた患者さんにおける術後遷延性肺癰症例の検討について倫理委員会により承認を得ました。遷延性肺癰とは肺切除後に残存する肺からの空気漏れが遷延し、1週間以上胸腔ドレーンを抜去できない状態のことです。本研究の目的は、肺切除術を受けられた患者さんのうち遷延性肺癰を起こした患者さんの特徴を検討し、今後の臨床現場に役立てることです。この研究結果は、学会演題や学術論文として発表される予定です。

本研究はCTなどの画像を再評価し、カルテからのデータのみを収集する観察研究であり、患者さんの個人情報をも抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。また、この研究に自分のデータを使用されることに「不同意とする」ことも可能ですので下記の問い合わせ先にご相談下さい。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。

この研究に対する説明を御希望の方は、問い合わせ先まで連絡をお願いいたします。

[問い合わせ先] 川崎医科大学 呼吸器外科学 教授 中田昌男

1. 電話：086-462-1111 内線 25519
2. FAX：086-464-1124
3. 電子メール：gts@med.kawasaki-m.ac.jp